



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国語Ⅰ 国語Ⅱ 国語Ⅲ
教科書	使用しない。資料は教員が準備する。
補助教材等	
学習上の留意点	
3年までに培ってきた国語力を使い、ディベートで幅広い情報・知識に応用していく。普段から社会で起きている事柄に注視しておくことが望まれる。	
担当教員からのメッセージ	
国語力は、これから先を生きて行く上で、重要な武器となる。そのためにも、自ら意欲的に取り組んでもらいたい。また、社会で起きている事柄に興味を持ち、「考え深い」大人になることを目指してほしい。	

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ディベートの方法	ディベートの方法を理解する。	<p>(予習)与えられた論題について、資料を収集し選択して主張をまとめておく。制限時間内で主張できるように事前に練習しておく。</p> <p>(復習)国語の常識問題に関しては、その日のうちに繰り返し学習して定着させる。</p>
2	ディベートの実践 ①	<p>一巡目のディベートを実践して、情報の集め方や、発言の仕方が理解できるようになる。</p> <p>国語の常識問題にも取り組む。</p>	
3	ディベートの実践 ②		
4	ディベートの実践 ③		
5	ディベートの実践 ④		
6	ディベートの実践 ⑤		
7	ディベートの実践 ⑥		
8	ディベートの実践 ⑦	<p>二巡目の続き。一巡目の弱点を克服する。</p>	
9	ディベートの実践 ⑧		
10	ディベートの実践 ⑨		
11	ディベートの実践 ⑩		
12	ディベートの実践 ⑪	三巡目開始。(二巡目とはメンバーを交代する。)	
13	ディベートの実践 ⑫		
14	ディベート特別編	ディベート特別編は、クラスのベストディベーター(上位8名)で行なう。模範的なディベートを聴いて、その技術を取り入れる。	
<b>期末試験</b>			
15	返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	ディベートの授業のまとめをする。	
<b>総 学 習 時 間 数</b>			45 時間
<b>講 義</b>			30 時間
<b>自学自習</b>			15 時間